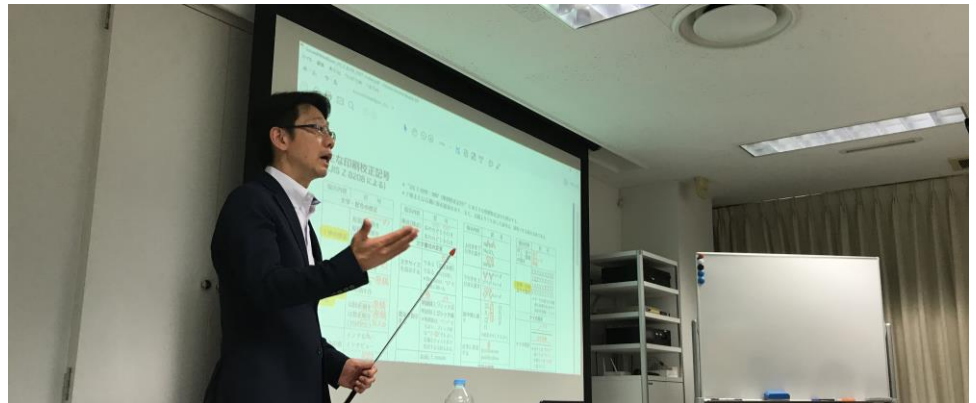


共同制作社の 「校正ミス予防セミナー」

講義と演習を通して品質管理のための「気づき」を増やし、日常の業務において「校正マインド」を意識できるようにします。制作業務だけではなく、日常業務上でも起こる誤字・脱字などの校正ミスについて事例を交えて講義します。



■会社概要

【設立】1964(昭和39)年2月

【資本金】300万円

【代表】代表取締役 木下彰二

【外注者登録数】約300名

【事業内容】

■校正・校閲事業

校正、校閲、検版、外国語校正(英・中・韓)、WEB校正、電子出版校正、校正セミナー など

■編集制作事業

編集制作、DTP、デザイン、多言語組版(日・英・中・韓 他) など

【URL】

<http://www.kyodo-de.com>

【主要取引先】

日本経済新聞社、日本経済新聞出版社、日経HR、日経リサーチ、日経BP社、日経メディカル開発、日経PR、日経ナショナル ジオグラフィック社、格付投資情報センター、凸版印刷、トッパンエディトリアルコミュニケーションズ、トッパングラフィックコミュニケーションズ、トッパン・フォームズ、ティ・デイ・エス、ティ・エム・シー、ジャパンプリント、共同印刷、デイリースポーツプレスセンター、大洋印刷、扶桑社、集英社、集英社クリエイティブ、ホーム社、KADOKAWA、NHK出版、産経新聞出版、ワニプラス、彰国社、高橋書店、主婦の友社、幻冬舎、幻冬舎ルネッサンス新社、ぶんか社、アルク、HANA、マイナビ、女子栄養大学出版部、日刊自動車新聞社、電波新聞社、千葉日報社、中央公論新社、びあ、文化学園文化出版局、学研ホールディングス、学研メディカル秀潤社、学研メディカルサポート、日本実業出版社、美術出版社、スターツ出版、ダイヤモンド社、社会保険研究所、社会保険出版社、じほう、日本医師会、南江堂、金原出版、南山堂、薬ゼミ情報教育センター、医療情報研究所、医療情報ネット、日本看護協会出版会、食べもの通信社、博報堂、博報堂プロダクツ、TBWA\HAKUHODO、東北新社、栄美通信、廣告社、文化工房、図書文化社、鹿島出版会、産業編集センター、読広クロスコム、ナガセ、ベネッセコーポレーション、ベネッセスタイルケア、アートプレス、ハーバー・コリンズ・ジャパン、YKK AP、ユニクロ、ワーナー・ブラザーズ・ジャパン、NISSHA、日本写真印刷コミュニケーションズ、三浦印刷、オリコム、日本ドリーム、高島屋、イー・ティ・イー、ディスコ、電通イースリー、電通ダイレクトマーケティング、電通リテールマーケティング、サドラー・ジャパン、エルゼビア・ジャパン、サーチ・アンド・サーチウェルネス、マッキンゼーヘルスケアワールドワイド・ジャパン、ハバース・ワールドワイド・ジャパン、インターメディカ、スリーライト、JTB印刷、JTBプランニングネットワーク、カイト、パン・アートのクリエイト、シトラス・ジャパン、リード・エグジジション・ジャパン、プランテーション、クオーターバック、パーソルホールディングス、デジタルプランニング、サブラス、スコープ、リンクス、ジー・セブン、ウォ・コーポレーション、ダンク、モダン、帆船、シナジーコミュニケーションズ、USEN Media、セブテーニ 他 約250社
以上順不同・敬称略

- 開催日 【セミナーA】2019年6月7日(金) 19:00~21:00
【セミナーB】2019年6月14日(金) 19:00~21:00
- 開催場所 共同制作社 セミナー室
東京都千代田区神田三崎町3-6-14 第二ハンタービル7階
- 受講料(税込) A: 10,000円、B: 10,000円
- 定員 各20名
- アクセス JR水道橋駅下車 西口改札より徒歩1分
- お申込み E-Mail: seminar@kyodo-de.com 共同制作社セミナー担当宛

■「セミナーA〈基礎と事例〉」

～基礎を身につけ、ミスを予防する～

- 校正と校閲の違い
- 校正には大きく三つの種類がある？
- 「校正支援ソフト」の利点・欠点
- 表組や数値データの照合方法
- 変換ミスが多い用字用語の例
- 「葛」と「葛」が混在する理由とは？
- 校正ミスの事例とその原因
- 校正ミスの注意箇所
- 校正ミスの分析・分類
- 差別語・不快用語の例
- 横組みと縦組みで違う句読点・引用符
- 表記が異なる地名
- 校正クイズ など

■「セミナーB〈対策と訓練〉」

～ミスの原因と対策を学び、ミスをマネジメントする～

- 間違い検知能力テスト
- 「リスクマネジメント」と「危機管理」の意味
- 校正ミスとPDCA (Plan・Do・Check・Action)
- 校正作業の阻害要因
- 校正スキルを分析し、ヒューマンエラーを検証
- 個人的な校正者のヒューマンエラーとは
- 制作的な校正者のヒューマンエラーとは
- 校正支援ツールのメリット・デメリット
- 演習 現場から考える「校正ミス対策」
- 校正マニュアルの活用
- ワークフローの改善ポイント
- 校正クイズ など

▼詳細は弊社HPの「Information」欄をご参照ください。

▼お申込みは「参加申込書」に必要事項をご記入の上、上記メールアドレス宛に送信ください。

参加申込書

No.A-____ /No.B-____

Mail:seminar@kyodo-de.com

申込日:20____年____月____日(____)

講座: 校正ミス予防セミナーA<基礎と事例>:2019年6月7日(金) 19時~21時校正ミス予防セミナーB<対策と訓練>:2019年6月14日(金) 19時~21時受講料(税込) A ¥10,000 B ¥10,000 要領収書フリガナ
お申込者氏名 _____ フリガナ
貴社名 _____

ご住所〒 _____

E-Mail: _____ TEL: _____

セミナーを知ったきっかけ:

弊社HP 弊社発行ニューズレター 同僚・上司・知人 弊社社員 その他(____)職業: 専門職(校正者、デザイナー、ライター、イラストレーター、写真家) 会社員 役員 公務員
学生 自営業 パート・アルバイト 無職 その他(____)業種: 出版 新聞 放送 広告 制作 製造 通信 教育 その他(____)

<お申込みの流れ>

1. お申込み方法

講座を受講するには事前の申込みが必要です。上記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、メールもしくはファックスにてお申し込みください(メールの場合、上記部分を撮影した画像でも可)。

2. 「お申込み確認」のご連絡

「参加申込書」が届き次第、弊社より「お申込み確認」のメールをお申込者様へお送りいたします(定員になり次第、締め切らせていただきます)。

3. 受講料のお振込み

弊社から「お申込み確認」の連絡を受けた後、速やかに下記口座まで受講料をお振込みください。振込手数料はご負担頂きますようお願いいたします。【みずほ銀行飯田橋支店 普通預金1491867 有限会社共同制作社】

4. 入金確認後に受講票を発行

入金確認後にお申込者様宛に受講票をメールにてお送りします。領収書が必要な場合はその旨お知らせください。

5. 当日の手続き

20分前から受付を開始します。お送りした受講票を受付でご提示ください。やむを得ず受講料の振り込みが間に合わない場合は当日現金にて精算いたします。

<お申込みの諸注意>

1. 受講キャンセルについて

お申込者様のご都合により、受講をキャンセルされる場合には、必ずご連絡ください。なお、開催5営業日前を過ぎてからの受講キャンセルについては、受講料の返金はいたしかねますので、ご了承ください。当日欠席される場合、弊社までお電話にてご連絡ください(電話受付時間10:00-18:00、土・日・祝日を除く平日。ただし開催日が平日以外の場合は受け付けます)。受講料が未納で開催5営業日以降にキャンセルされた場合は、キャンセル料(受講料全額)をいただきます。

2. 講義の中止・延期を判断した場合

所定の人数に満たない場合、もしくは自然災害などの場合においては、中止・延期させていただく可能性がございます。中止の際は速やかにお申込者様へご連絡させていただき、受講料を全額返金させていただきます。

3. ご提供いただいた情報の取り扱い

ご提供いただいた情報は、当該講座の運営、管理資料として使用するほか、弊社が主催する事業のご案内に利用させていただく目的以外に使用いたしません。ご案内が不要な場合はその旨をお知らせください。

※講義の録音・録画、講義中のパソコンや携帯電話のご使用はお断りいたします。また、会場内は禁煙です。ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※本セミナーの内容は、事前の告知なく変更を行う場合があります。あらかじめご了承ください。